

Cisco ビデオ サーベイランス サーバからのサポート レポートを生成して下さい

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[Cisco ビデオ サーベイランス サーバからのサポート レポートを生成して下さい](#)

[GUI の使用](#)

[CLI の使用](#)

[関連情報](#)

概要

この資料に Cisco ビデオ サーベイランス サーバ (VSM) から support レポートを 7.x 収集する方法を説明されています

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は Cisco ビデオ サーベイランス サーバ 7.x に基づいています

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

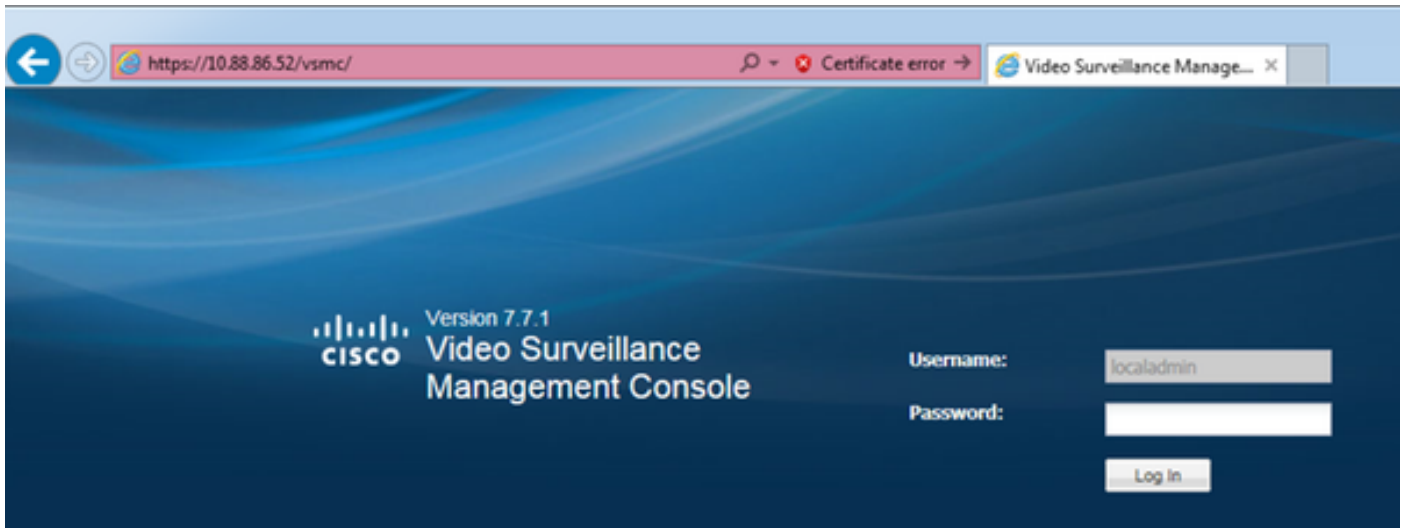
Cisco ビデオ サーベイランス サーバからのサポート レポートを生成して下さい

サポート レポートはトラブルシューティングおよびシステム 解析で使用のためのサーバについての詳細な情報が含まれています。これらのレポートはサポート代表によって要求されたときだけ使用され、生成する必要があります

サポート レポートは生成することができます VSM サーバの CLI か GUI を使用します

GUI の使用

ステップ 1. - [https:// <VSM ServerIP>/vsmc/](https://<VSM ServerIP>/vsmc/)を使用してビデオ監視サーバのマネジメントコンソール ページにログインして下さい



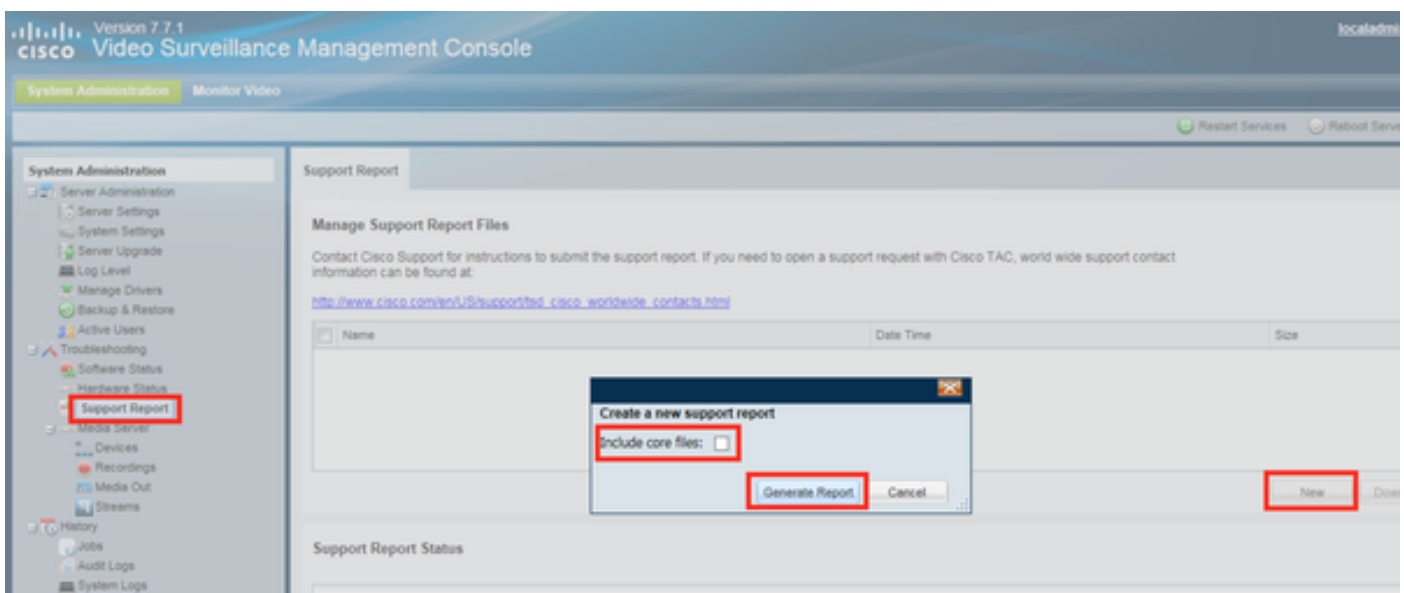
またサーバへのおよび Operations タブ選定された「マネジメントコンソール」の下のビデオ監視オペレーション マネージャ サーバ ログオンで。これは「localadmin」アカウントとログインできるサーバのためのマネジメントコンソールを開発します。

ステップ 2. サポート レポートを選択して下さい

ステップ 3. 『New』 をクリックして下さい

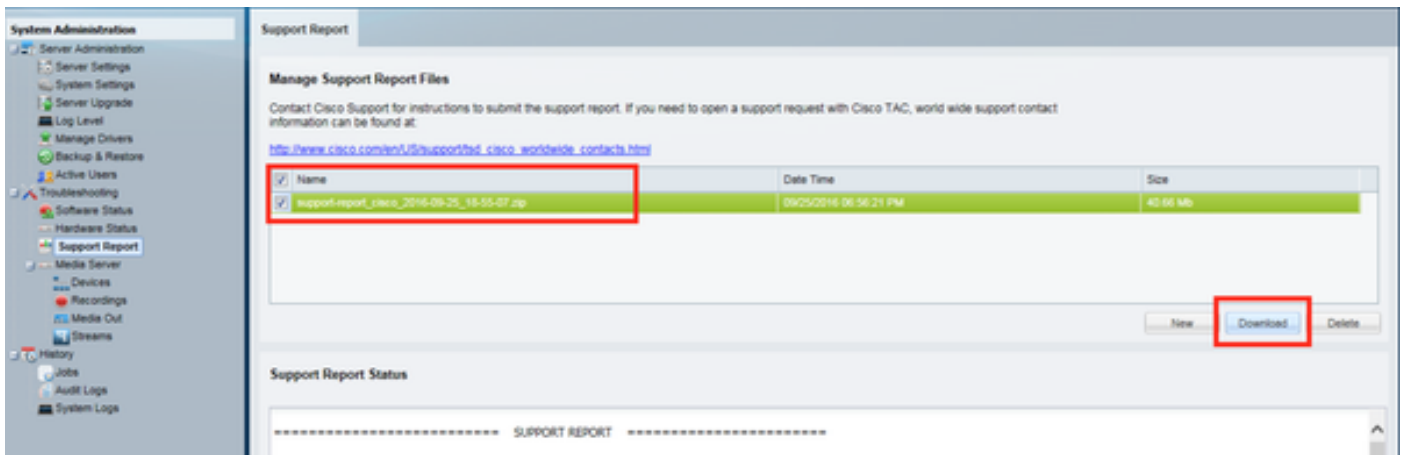
ステップ 4 問題を解決したらサーバ クラッシュを含んで Include コア ファイルをクリックして下さい。 オプションがチェックを外したない許可

ステップ 5. 新しいサポート レポートを作成するためにレポートを『Generate』 をクリックして下さい



ステップ 6. 生成されるべきレポートを待つして下さい

ステップ 7. レポートを選択し、『Download』 をクリックして下さい



CLI の使用

多くの場合そのような場合サポートレポートことができます生成するサーバの GUI は CLI を使用してアクセス可能ではないかもしれません

ステップ 1.セキュア シェル (SSH) セッションを Cisco ビデオ サーベイランス サーバに PuTTY のようなアプリケーションを使用して設定し、localadmin アカウントと認証して下さい

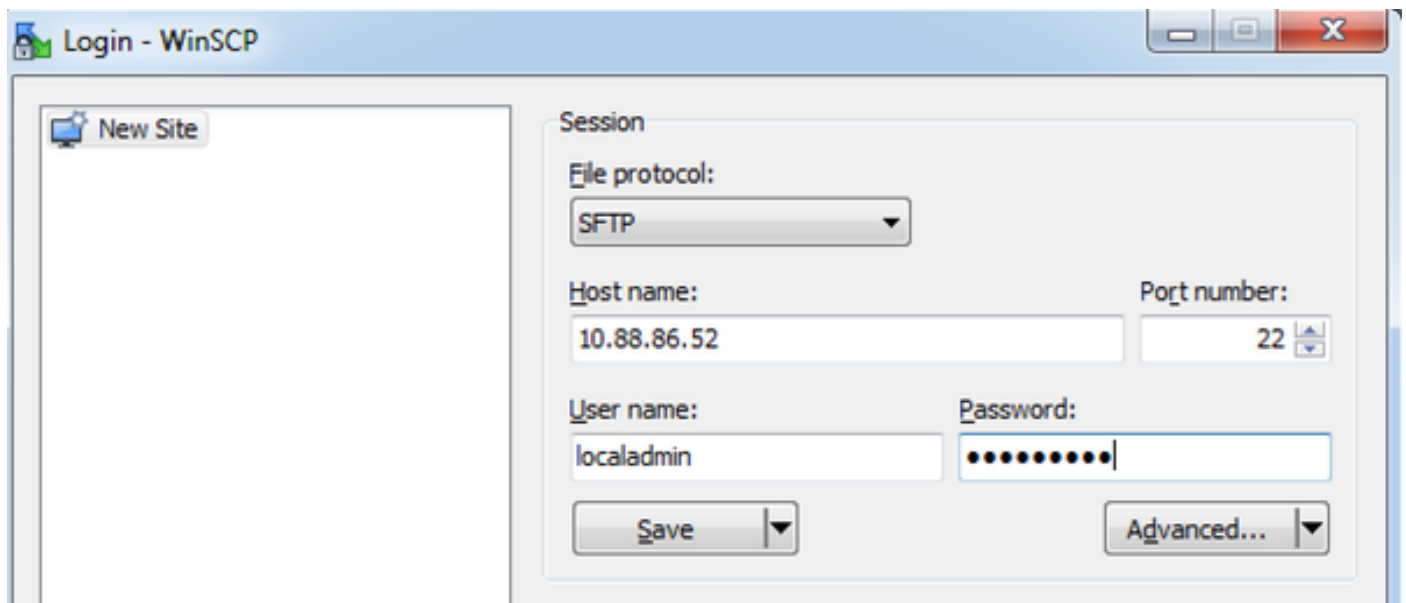
ステップ 2.スーパー ユーザ モードに変更するためにコマンド `sudo SU` を実行して下さい

```
root@cisco:~  
login as: localadmin  
localadmin@10.88.86.52's password:  
Last login: Sat Sep 24 15:20:47 2016 from 10.24.128.164  
[localadmin@cisco ~]$ sudo su -  
[root@cisco ~]#
```

ステップ 3.生成されるレポートのためのコマンド `サポート レポート および 待機` を実行して下さい

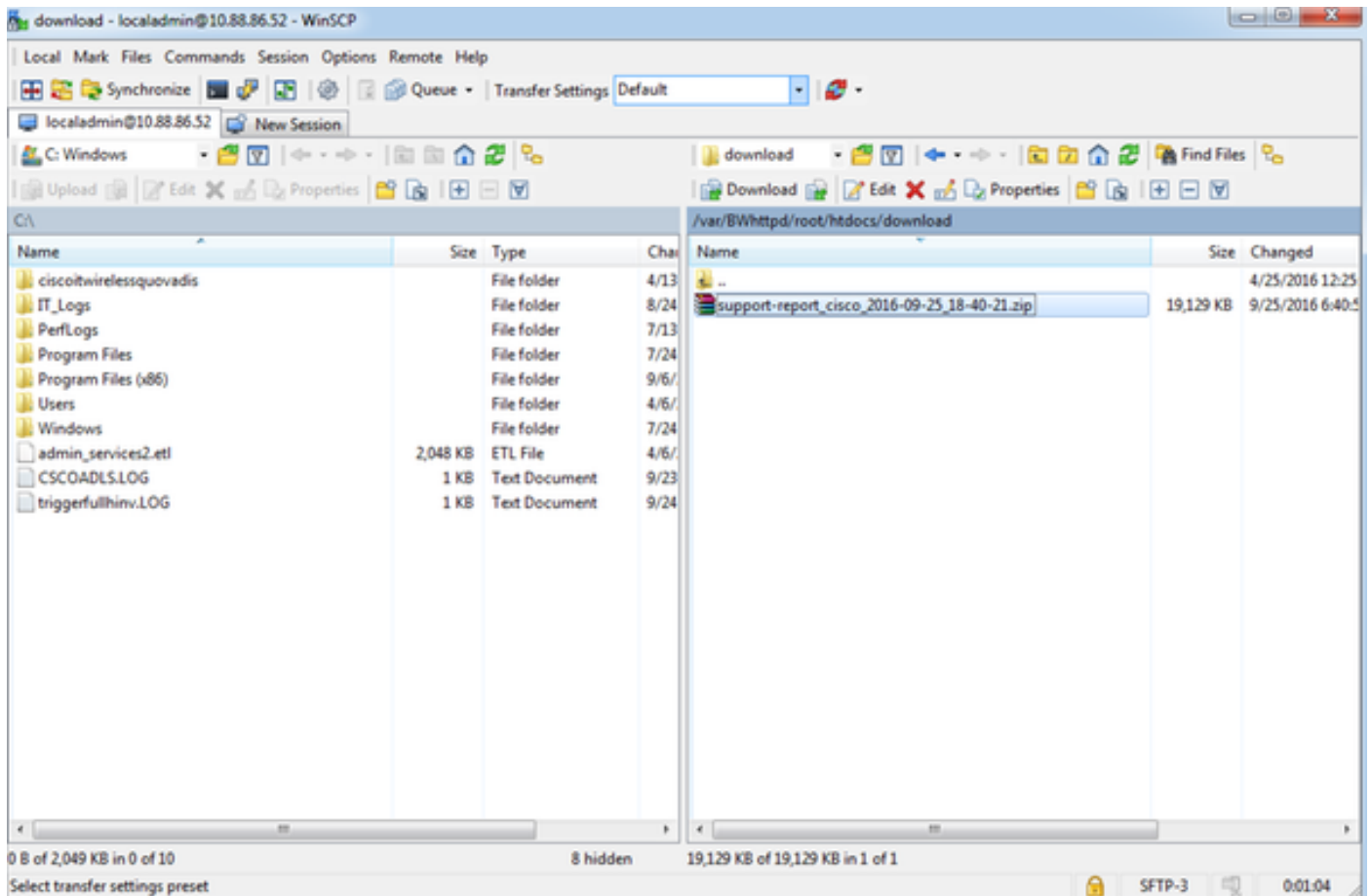
```
[root@cisco ~]# support-report
Generating report...
Building system configuration...
Collecting Storage Monitoring Data...
/usr/BWhttpd/bin/reposdbtestclient: error while loading sha
1.so.1.0.0: cannot open shared object file: No such file or
Checking for database server ... Running.
Checking for VSOM database server ... Running.
Checking for VSOM database server ... Running.
Checking for VSOM database server ... Running.
ERROR 1049 (42000): Unknown database 'vsf'
done!
Building package list...done!
Building process list...done!
Reading open files... done!
Copying hardware profile...done!
Copying system logs...Done!
Copying VS logs...
File to convert deviceUID :/usr/BWhttpd/logs/ims.log:
Copying device-uid name mapped ims log ...
```

ステップ 4.セキュア ファイル転送プロトコル (SFTP) セッションをサーバに WinSCP のようなアプリケーションを使用して設定し、localadmin アカウトと認証して下さい



ステップ 5.サーバの /usr/BWhttpd/root/htdocs/download/ フォルダにナビゲート して下さい

ステップ 6.ワークステーションの目的の場所にサーバからのファイルをドラッグ・アンド・ドロップして下さい



関連情報

ログが Cisco TAC エンジニアによって要求された場合、下記の資料で説明されているメソッドの1つを使用して TAC ケースにアップロードすることができます

<http://www.cisco.com/c/en/us/about/security-center/tac-customer-file-uploads.html>

リンクはビデオにここにあり GUI を使用してサポート レポートをキャプチャする方法を説明します

<https://www.youtube.com/watch?v=oDSAZjUzalc>